

第8回発表会



日本生命館 御譜代町の一つ、南町通りは、明治以降金融保険会社が立ち並ぶ町となり、中でもクラシカルな洋館風の建築物として日本生命館は一目をひきました。仙台空襲で焼け野原になった写真にも、その健在な姿を見ることが出来ます。市民に親しまれた赤レンガ館、昭和43年11月建て替えのために解体されました。 絵・文 小野寺純一(会員・画家)


近代の仙台を中心とした建築、工芸、歴史、文化に対する理解と研鑽を深める研究会を2016年(H28)1月に立ち上げました。この度第8回目の「発表会」を下記のように開催致します。戦前、戦後の仙台をご存知の先輩方や、関心をもって研究されている方々の成果の発表を通し、多世代との交流を図りながら未来へと継承していきたいと思えます。興味のある方々のご参加をお願い致します。 会長 庄子晃子

日時 2023年(令和5年)2月25日(土)
午後1:00～5:00(0:30開場)
場所 東北工業大学一番町ロビー
2Fホール(青葉区一番町1-3-1)



参加 オンラインで視聴できます
(事前申込み制)
資料代 1,000円(発表内容の報告書。必要) の方は申込み下さい。

発表テーマ(仮題) ◆1人9分以内で12人が発表します。

- 開会挨拶 1:00pm～
- 第1部 生活文化と記憶** 1:05～2:01 (司会・庄子喜隆)
- 石澤友隆 夏目漱石と仙台弁
庄子晃子 昭和3年国立工芸指導所開所時の要覧をひもとく
—仙台市二十人町通り10番地(現仙台市宮城野区五輪1丁目4-22)での任務
- 伊藤正浩 「幻の球場」東北体育協会球場について
—仙台最初の野球専用球場の盛衰—
- 菅野恭彦 100年前の卒業アルバム
ディスカッション (計時/マイク係・今崎嵩)
- 第2部 戦前・戦後の動き** 2:11～3:07 (司会・庄子晃子)
- 佐々木伸 石碑「仙台城址」の設計図—政宗公没後三百年記念事業の謎—
内山隆弘 明治25年架設の澱橋について
岡本勝壽 奥州街道と仙台の劇場文化—松旭齋天勝を偲んで—
柴田力夫 二宮金次郎像の調査報告
ディスカッション (〃)
- 第3部 都市造営のあゆみ** 3:17～4:13 (司会・大和晴彦)
- 大沼正寛 昭和前期仙台における新建築像の一考察
—雑誌「仙台闊歩」取材協力こぼれ話—
- 崎山俊雄 昭和初期の仙台・宮城における基督教の広がり教会建築について
—東北学院出身の異色建築家・羽生儀三郎の動向を中心に—
- 渡邊裕太 国立公文書館所蔵公文書にみる旧制仙台育英中学校の建物
斎藤広通 大河原町恩賜郷倉について
ディスカッション (〃)
- 第4部 特別講演** 4:15～5:00
-  黒石いずみ先生(青山学院大学総合文化政策学部客員教授)
「今和次郎の東北と工芸探究」
- 閉会挨拶・諸連絡 5:01～5:05

※コロナ禍のなか、密にならないよう、主に発表者で行います。興味ある方は、オンライン(Zoomミーティング)での視聴をお願いします(事前にメール申込み)。



近代仙台研究会

問合せ Tel.090-4633-9570

メール koukogen@ab.auone-net.jp

HP <http://kindaisendai.com/>

(フライヤー)